

玉村町友好交流協会がツアーを企画

玉村町友好交流協会主催の野菜収穫体験などを行う観光ツアーが6月25日に本村で行われました。



バーベキューで昼食

このツアーは、平成24年1月に村と友好交流協定を締結した玉村町が、他の自治体を含め、その交流をより活発かつ広範囲なものへと発展させるために企画したものです。

当日は同町の親子など、22人が参加。昭和インターから村に降り立った参加者らは、まず桜桃園でさくらんぼ狩りを楽しみました。その後、昼食は昭和の森山荘でのバーベキュー。道の駅「あぐりーむ昭和」でレタスの収穫体験や買い物をするなど、本村での一日を満喫していました。

道の駅で

レタスマつりを開催

道の駅「あぐりーむ昭和」では6月25日、毎年恒例のレタスマつりを開催しました。これは、全国でも有数のレタス産地である「やさしい王国昭和村」を広くアピールするとともに、村へ継続して来ていただくことを目的に開催しているもの。

イベントには、横浜市立豊岡小学校の児童等たくさんの人たちが来場。採れたレタスの試食や抽選会、隣接する農場での収穫体験を楽しんでいました。



にぎわいイベント会場

横浜市内でコンニャク芋の植え付け

村では6月21日、横浜市役所に隣接する横浜公園内に村の特産品コンニャク芋の植え付けを行いました。これは、友好交流協定を結ぶ横浜市との交流事業の一環として、また村のPRを目的に実施するもので、今年で4回目となります。

また同日、横浜市立小机小学校にも堤村長と職員が訪れ、6年生を対象にコンニャクや村を紹介する授業を行いました。これは、子どもたちが赤城林間学園を訪れた際に、村がコンニャク芋を贈ったことがきっかけとなり企画されたもの。子どもたちは、校内の花壇で職員によるコ



レタスの収穫体験をする参加者

ンニャク芋の植え付けの様子を見学し、雨の中にもかかわらず説明を熱心に聞き入っていました。冬にはコンニャクづくりを行う予定です。



横浜公園での植え付け



小机小学校で授業を行う堤村長

園児が菜の花館でお年寄りと交流

第一保育園では6月28日、隣接する特別養護老人ホーム「菜の花館」のお年寄り
と園児たちとの交流会を開催しました。
交流会では、6月に誕生日を迎えた園
児たちを、お年寄りのみなさんも交えて



車いすリレーで交流

お祝い。祝ってもらった園児たちは誕生日プレゼントを受け取り喜びました。
続いて、お年寄りとお年寄りたちによる運動会を開催。園児とお年寄りそれぞれによる玉入れ、年長児たちとお年寄りの車いすリレー、そして園児たちによる綱引きが行われました。屋外で、元気いっぱいの子どもたちとふれあい、体を動かしたお年寄りのみなさんは、笑顔で交流を楽しんでいました。
交流会の最後には、園児たちがお年寄り一人ひとりと握手してお礼とお見送りをしました。

むし歯予防教室で健康な歯に

村内各保育園では6月中「むし歯予防教室」を実施しました。

この教室は、むし歯予防週間にあわせて、園児たちに歯の大切さを伝えるため、毎年保育園で行われているもので、第一保育園では6月1日、第二保育園では6月8日、子育保育園では6月2日にそれぞれ実施。

ホールに集まった園児たちに、むし歯にならないためのお話や寸劇を行ったほか、年長組の園児たちは歯の汚れを確認する染め出しを行いました。

指導にあたった歯科衛生士の石井比呂美さんは「赤くなっているのは汚れ

が残っている部分。きちんとみがきましょう」と歯の模型を使って正しいブラッシングの方法を実演。園児たちは鏡とにらめっこしながら歯磨きの練習をしました。



磨き残しをチェック(第二保育園)



虫歯予防のお話を聞く園児たち(子育保育園)

更生保護女性会が 社会を明るくする運動

更生保護女性会では7月3日、「社会を明るくする運動」で林きぬ子会長ほか役員5人が役場を訪れ、犯罪や非行のない安全で安心して暮らせる地域社会づくりの推進を呼びかけました。

同会では、このほか村内各小中学校や保育園、社会福祉協議会をまわり、同運動の呼びかけとともに手作りの和紙人形などを配りました。



役場を訪れた更生保護女性会の皆さん